

葦 森 の 風

先週2月4日は「立春」。暦の上ではもう春なのでしょうが、先週は特に寒さの厳しい毎日でした。また、2月4日は3年生私立1期入試の合格発表が行われ、各々の進路実現に向けて一步前進できたようでした。今後の公立自己推薦入試や一般入試へ向けて、まだまだこれからが本番だと思います。健康管理も受験勉強のひとつとして、適度な緊張感をもって着実な努力の積み重ねを期待しています。

協同学習公開授業

2月3日（水）は「協同学習」の第1回公開授業日でした。小中高等学校19校から先生方が32名、小中学校の保護者や地域の方など18名が参観してくださり、あわせて50名ほどの外部の方がお越しくださいました。

3・4時間目を全クラスでの公開授業として、自由に参観していただきました。給食後は1年A組が体育館で提案授業を実施しました。第1回目の提案授業は北野光代先生が国語の「説明文」を題材にした授業を行いました。

多くの外来者に参観される中での緊張した授業でしたが、生徒達は授業の内容に集中し、外部の人達のことや体育館という初めての環境にも動揺することなく、真剣に学び合い学習をすることができていたと思います。

まだまだ、グループとして学び合う場面の設定やねらいといった点は今後の足守中学校全体の課題として取り組んで行かなくてはならないこともはっきりしてきました。

「生徒一人ひとりが何を学ばよいか」ということを授業の中でしっかり押さえていくことが大切です。そのため、教材研究をとおして「教職員の学び合い」をよりいっそう活性化させていきたいと感じました。

